

九州大学ソーシャルアートラボ シリーズ「アートと社会包摂」
公開講座 「人と人との境界を問う——ダムタイプ『S/N』上映&トーク」



photo: Kazuo Fukunaga



photo: Yoko Takatani

ゲスト
ブブ・ド・ラ・マドレーヌ (アーティスト)
山中透 (作曲家、プロデューサー、DJ)

聞き手
中村美亜 (九州大学大学院芸術工学研究院 准教授)

主催：九州大学大学院芸術工学研究院ソーシャルアートラボ
 共催：公益財団法人福岡市文化芸術振興財団
 後援：福岡市／日本アートマネジメント学会九州部会
 協力：九州レインボープライド実行委員会
 助成：2019年度文化庁 大学における文化芸術推進事業

2019年 **11/4** [月・祝] 17:30-20:40 (開場17:00)
福岡市科学館6階サイエンスホール
 (福岡市中央区六本松4-2-1)
 無料(鑑賞料含む) 定員200名(事前予約制、先着順)
 申込締め切り=2019年10月30日[水] 定員に達した時点で締め切ります。



シグナル (Signal) とノイズ (Noise) の境界はどこにあるのでしょうか。生/死、男性/女性、外国人/日本人、同性愛/異性愛、障害/健常…これらの境界はどのように生じるのでしょうか。1994年に初演され、国内外でセンセーションを巻き起こしたダムタイプのパフォーマンス《S/N》は、今でもこうした問いを観る者に鋭く突きつけます。

本講座では、記録映像《S/N》を鑑賞した後、制作に関わったブブ・ド・ラ・マドレーヌさん、山中透さんとともに、セクシュアリティをめぐる状況、社会課題を扱う芸術の可能性について考えていきます。今、改めて《S/N》に向き合うことで、「アートと社会包摂」の意味を問います。

※本上映会では、公演当時作品の音楽を担当していた山中透さんによるライブサウンド・オペレーション（記録映像の音響をライブによる操作で上映）を実施します。



BuBu de la Madeleine
 ブブ・ド・ラ・マドレーヌ
 アーティスト

1961年大阪生まれ。京都市立芸術大学美術学部構想設計専攻卒業。ダムタイプのパフォーマンス《S/N》(1994-96)に出演後、国内外のアーティストとの共同またはソロでパフォーマンス、映像、テキスト等による作品を発表。同時にHIV/エイズと共に生きる人々やセックスワーカー、女性、セクシュアルマイノリティ等の健康と人権に関する市民運動に携わる。主な作品に《人魚の領土》(2004)、《水図プロジェクト》(2010-12)等。主な寄稿に「セックスワーク・スタディーズ」(日本評論社、2018)等。現在、アーツ前橋にて開催中の展覧会「表現の生態系 世界との関係をつくりかえる」(2019年10月12日-2020年1月13日)に出展中。



山中透
 やまなか とおる
 作曲家、プロデューサー、DJ

1960年大阪生まれ。学生時代、京都を中心に実験音楽系のフィールドで活動し、マルチメディア・パフォーマンス・グループ「dumb type」の立ち上げに参加。創成期のメンバーとして、音楽と音響を担当。いまでも続く伝説的なドラッグクイーン・イベント「Diamonds Are Forever」のDJ、主催者で、様々な分野の人々と積極的にコラボレーションを行っている。

2016年“三代目、りちやあど”野田秀樹脚本、オン・ケンセン演出

2018年 高橋匡太 興福寺中金堂落慶法要ライブアップ (奈良)

2019年 MuDA “K.R.O.P.P EXTENDED 2019” (スウェーデン)、矢内原美邦 “春夏秋冬” (インドネシア)、高橋匡太 RRBV (横浜)、駿府城ライトアップ (静岡)

2016年より、dumb type 在籍時の楽曲を演奏するソロ・ライブを行っている。



中村美亜
 なかむら みあ
 九州大学大学院
 芸術工学研究院准教授

芸術活動が人をエンパワメントしたり、社会に変容を及ぼすプロセスや仕組みに関する研究、また、その知見を生かした文化政策の研究を行っている。HIV/AIDSやジェンダー/セクシュアリティの啓発支援活動にも携わってきた。著書に『心に性別はあるのか? 一性同一性障害のよりよい理解とケアのために』、『クィア・セクソロジー—性の思いこみを解きほぐす』、『音楽をひらく—アート・ケア・文化のトリロジー』、共著に『はじめての“社会包摂×文化芸術”ハンドブック』など。

プログラム	17:00	開場
	17:30	プレトーク
	18:00	《S/N》上映 (65分)
		休憩
		トークセッション
	20:40	終了
		※当日のスケジュールは変更になることがあります。

受講料：無料 定員：200名（事前予約制、先着順）

「UDトーク」を活用したリアルタイム字幕を提供いたしますので、希望する方はお申し込みの際にお知らせください。その他、当日についてご要望がございましたら、可能な範囲で対応いたしますので、メール・FAX・申込フォームにてご連絡ください。

お申込・お問い合わせ

10月30日までに、下記のいずれかの方法でお申込ください。

1. ソーシャルアートラボ公式ウェブサイトの

「CONTACT」ページ

<http://www.sal.design.kyushu-u.ac.jp/contact.html>

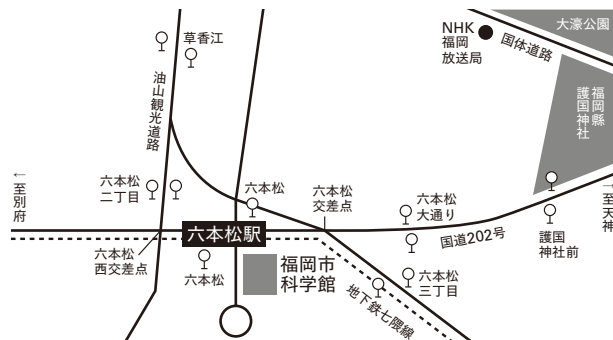
2. メールまたはFAX（次の項目を記載してください）

①氏名 ②フリガナ ③メールアドレス ④電話番号

⑤居住地（都道府県）⑥所属など（任意）⑦受講の動機

MAIL: sal-cul@design.kyushu-u.ac.jp

TEL/FAX: 092-553-4552



福岡市科学館 (福岡市中央区六本松4-2-1)

○博多駅から地下鉄約25分:

空港線「天神駅」乗換え、七隈線「天神南駅」から「六本松駅」

○九州レインボープライド会場から地下鉄約20分:

空港線「中洲川端駅」→「天神駅」乗換え後同上

※専用駐車場はありません。公共交通機関をご利用ください。

九州大学ソーシャルアートラボ

九州大学ソーシャルアートラボは、社会の課題にコミットし、人間どうしの新しいつながりを生み出す芸術実践を「ソーシャルアート」と捉え、新しい生の価値を提示していくことを目的としています。平成30年からは、《アートと社会包摂》をテーマとして研究・教育・実践・提言に取り組んでいます。

ウェブサイト <http://www.sal.design.kyushu-u.ac.jp/>

関連講座（シリーズ「アートと社会包摂」）公開講座

「生きるための音楽——
 『アリラン峠を越えていく～在日コリアンの音楽』
 の上映&トーク」

日時：2020年1月25日 [土]

会場：福岡市美術館 *詳細は、後日HP等にて告知します。